

学校だより

2022.11.1

第 8 号

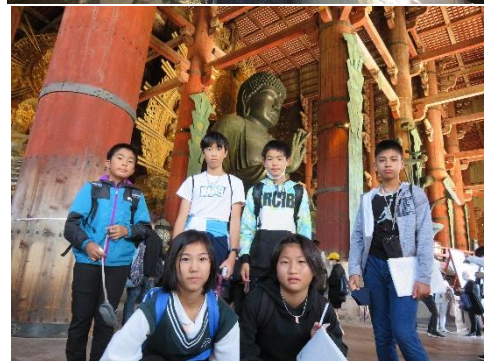
# 志こころざし



## 人とのかかわりで学ぶ大切さ！

10月28日の新聞に、「県内不登校 10年で最多」「全国初めて20万人超す」という見出しが一面に大きく書かれていました。また、県内の小中高校と特別支援学校が認知したいじめ件数も前年より増加したとの記述もありました。「コロナ影響」「子どもとの接点減る」という小見出しもあり、「コロナ禍3年目、影響が出てきているのか。」と不安が募ってきます。本校では、「子どもたちの学びを止めない」を合言葉に、子どもたちの想いを大切に行事や活動を実施しています。先月10月6日には半日でしたが、「陸上記録会」が開催され、他校の児童と競い合い高め合うことができました。また、10月20・21日は1泊2日で3年ぶりに県外へ修学旅行に出かけました。帰校後3日間、他学年との交流自粛などの制約もありましたが、6年生も引率した教員も元気に乗り越えられました。

子どもたちは、日々学び成長しています。校内での学びは、同じ学年の友だち、他学年の仲間、校内の教職員などのかかわりの中で生まれています。我々教職員もかかわり方一つで大きく成長していく子どもたちを目の当たりにして、授業はもちろんのこと日ごろの接し方も考えていかなければならないと痛感しています。先月の修学旅行で、6年生は多くの方々と出会いかわることで多くのことを学びました。その中で、心に残ったことを2つ紹介します。1つ目は、1日目の大阪「京橋中央商店街」で「販売活動」をしたときの出来事です。「あきんど体験（販売活動）」を担当している ■■■ さんが後で教えてくださいました。「あるお客さんが言いはったんや。『ごめんなあ。子どもさんのしなることやけど、お金を払う時にお札をひったくるみたいに受け取った子がおって注意してしもた。気悪くしとらんやろか。』先生には伝えとくね。と言うたんやけど…。」もちろん、よくぞ指摘してくださったと感謝の言葉を伝えました。「人から物を受け取る時の受け取り方」このような授業はありませんが、きっと、この指摘を受けた子は、大切な学びをしたはずだと思います。「物を受け取る時、その人の心も受け取る」と聞いたことがあります。今回の場合は、その方が品物との



引き替えにくださったお金です。どのように受け取るとよかったのか、しっかりとふり返ってくれたことでしょう。2つ目は、USJでの出来事です。ハロウィン、修学旅行と重なり多くの人で施設内は混雑していました。待ち時間が多くなったり、整理券が必要であったりとアトラクションを体験するにも大変でした。私が本部で待機していると、USJスタッフの方が4名の本校の子どもたちとやってきました。「何かトラブルか。」すると、その方は、子どもたちが整理券を取得して体験しようとしていたアトラクションは、子どもだけでは体験できないことを伝えてくださいました。大人と一緒に体験していただきたいとのことでした。「長く待っていただいたので、1つアトラクションを用意しました。私がお連れして体験していただきます。申し訳ありませんでした。」丁寧に対応してくださる様子に、頭が下がりました。この4名の子どもたちのチーム名は「モンハンさえ行ければなんでもいい」なので、担任と養護教諭に付き添ってもらい、体験したかったアトラクションには行くことができました。こちらはお金を払っているお客だから当然と言えばそうでしょうが、「子どもだけでは乗れません。」の一言で終わるのではなく、最後まで子どもたちの想いを大切にくださった対応に感激しました。



本校は「ふるさと学習」を核にして教育活動を行っています。机上では学ぶことのできない多くの人とかかわりの中で学ぶことを大切にしています。今年度も残り5か月となりました。これからも多くの方々とかかわり、その中で学んでいってくださることでしょう。

## 駅伝っていいな！

卒業生、小浜中学校の先輩、異動された先生と多くの方が一緒に走って盛り上げてくださいました！



内外海小HP



資源回収へのご協力、誠にありがとうございました。



田鳥の様子